

**日頃より購買事業のご利用ありがとうございます。** 昨年に引き続き『森林組合購買』のチラシを同封させていただきました。内容、価格共に、昨年と代わらず山仕事の定番商品が載っております。物によってはお取り寄せに送料の係るものもありますが、スパイク付地下足袋等は各種サイズを取り揃えて置いてあるものもございますので、試履き等のご相談も承ります。また、円高の影響により、場合によってはチラシ価格が変動している場合もございますので、ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

**お問い合わせ：購買係 0263-64-3300**

**今後のイベント情報**

- 少し気の早い話ですが、秋のイベントをいくつか紹介します。
- ① 『森の恵みふれあい祭り』  
9月7日(土)  
中信木材センター(安曇野市) 購買チラシ掲載商品の販売も行います。
  - ② 『第48回松本農林まつり』  
9月14日(土)  
あがたの森公園(松本市) ※乾しいたけ・下駄などの販売を予定しています。
  - ③ 『木育フェスティバルinおじり』  
9月14日(土)・16日(月)  
ウィングロード(塩尻市) ※小径木の丸太を使った、プラント作りを体験頂きます。今年度は、イベント盛りだくさん! ご都合宜しければ、ぜひお越し下さい。

集約・木販課に配属になりました小笠原です。また、毎日何をやるのも勉強の日々ですが、先輩方のご指導の元がんばっています。組合員のみなさんに、安心して山を組んでもらえるような職員になりたいと思います。よろしくお願いたします。



集約・木販課 new face 小笠原 峻次

また未熟で至らない点が多々ありますが、自分の育った地域を守り育てると言う強い気持ちで、先輩方の姿をしっかり見ながら一つ一つ仕事を覚えていきたいと思っております。支所では三郷・梓川を担当いたします。今後ともよろしくお願いたします。



集約・木販課 new face 上田 一裕

**新入職員紹介**  
今年度より、新たに仲間となりました2名の職員をご紹介します。

前向きな気持ちで  
がんばってください。

1年経って先輩になった  
昨年からの新人森下君より一言!

松本広域森林組合 安曇野市三郷温4000番地 0263(77)2413

URL <http://www.matsumoto-forest.jp>

**山が枯れる... 山くみ森 まつもと広域 第10号**



新緑の季節、緑鮮やかな山々の中に、ひときわ目立つ、立ち枯れたアカマツの木、松くい虫被害木です。「松くい虫防除対策業務」松林健全化推進事業など呼び名は様々ですが、各市町村より業務委託を受け、森林組合でも、通常の森林整備事業とは費用を分けて事業管理するほどの事業になってきています。

6月には、無人ヘリによる安曇野市大沢地区と松本市四賀地区の空中散布が行われ、地元紙やテレビのニュースで大きく取り上げられるなど、被害の拡大が見てわかるようになってきました。

まだ、元気な松を守るには、先のような防除剤の散布や、マツノザイセンチュウの侵入を防ぐ樹幹注入剤の注入の2種類があります。残念ながら、ザイセンチュウに入られてしまった松には、伐倒燻蒸するほかなく、年々この伐倒燻蒸に関する事業は拡大しているのが現状です。

数百本のうちの1本2本が松枯れの場合、伐倒燻蒸でも用が足りていたのは数年前の話、現在被害拡大地域では、国道などから見て取れるところまで、燻蒸中のシートが山が見られます。



そんな現状の中、新たな取り組みとして『更新伐』という施策を行なう地域も出てきています。

安曇野市明科押野地区、明科から池田に向う県道、右側に見える山が、明科押野地区です。5年前程前から押野地区では、松枯れの被害が拡大しており、針葉樹のアカマツが、紅葉したかのように赤く枯れているのが目立っていました。この度、安曇野市が事業主体となり、私有林の『更新伐』を進めています。



更新伐とは、現在、成林している樹種を有る程度強度に伐採し、違う樹種、林層に変えていくための伐採作業の事を言います。押野地区で取り組んでいる更新伐では、松くい虫による被害が著しいアカマツ林のアカマツをすべて伐採し、残ったナラ、サクラ類等の有用広葉樹林へと移行することを目指しています。

こうした劇甚被害地域のアカマツ林を減らすことは、松くい虫被害量を抑える効果があります。

被害地を担当する支所の職員は「実施にあたっては、国県市より補助金が受けられますが、作業条件により補助金と搬出した材の売り上げが、事業費を下回ることもありませぬので、所有者の方からご負担をいただくなければ、実施できない場合も

**平成25年度人事**

- 総務課**  
参事兼課長 田中 康 (旧所属)  
課長補佐 曾根 成明  
主任 千邑 玲子  
嘱託 北村 妙子
- 事業課**  
課長 中野 忠夫  
技師 森下 拓耶
- 集約・木販課**  
課長 望月 清  
係長 飯沼 崇史 (あづみ支所)  
主任 小笠原 順次 (新規採用)
- あづみ支所 (糸川事業所)**  
支所長代理 片桐 浩  
支所長 清水 直幸 (筑北支所)  
技師 上田 亮介 (新規採用)
- 松本支所**  
支所長 高木 聡 (旧所属)  
支所長代理 山岡 正人  
技師 上野 伸一郎 (筑南支所)
- 筑南支所**  
支所長代理 武井 均  
主任 齋藤 浩志 (集約木販課)  
技師 丸山 貴弘 (あづみ支所)  
支所長代理 三浦 正博
- 筑北支所 (筑北加工工場)**  
支所長兼工場長 山本 健太 (松本支所)  
支所長代理 薄井 健  
主任 原 弥生  
技師 有賀 弘好
- 退職 (平成25年3月31日)**  
集約・木販課係長 横山 繁樹

**第922回 市売市況表**  
(平成25年6月19日実施)  
長野県森林組合連合会 中信木材センター  
長野県森林組合連合会 0263-77-2347 Fax77-2349  
Tel 0263-77-2347 Fax77-2349  
○ 強気配 △ 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	安値 (円/㎡)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備考	
すぎ	3.0	直	16~18	2,500	10,000	7,000	-		
		直	20上	2,500	11,000	8,000	-		
		曲	20上	2,500	11,000	8,000	-		
	4.0	直	14~20	4,000	9,000	6,000	△	応札活発だが中目・尺上材予想より値伸びず。	
		直	22~28	6,000	12,000	8,000	-		
		曲	20上	3,000	7,000	5,000	-		
からまつ	4.0	直	14~18	4,500	11,000	8,000	-		
		直	20上	11,000	16,000	12,000	○	応札活発出材下さい。	
		曲	14~18	2,500	11,000	5,000	-		
	ひのき	4.0	直	16~18	7,500	18,000	12,000	-	
			直	20~28	12,000	22,000	15,000	-	
			曲	14~18	2,500	10,000	7,000	-	6.0m通柱取り引合いあり。
けやき	3.0	一本	52	67,000					
		一本	62	68,000					
		一本	52	68,000					
なら	4.0	直	14~50	8,000	20,000	12,000	○		
		直	18~22	15,000	30,000	23,000	○		
		直	18~38	7,000	40,000	15,000	○		

出品量 3,548㎡ 販売量 2,866㎡ 落札率 81% 買い方 52社

今回も活気ある市売となりました。しかしながら低質材はまったく売れない状況が続いております。それから用材でも高枝、伐倒受け口がついたままの材は応札がまったくありませんでした。梅雨に入り作業しづらい時期ですが丁寧な造材を心掛けてください。又、樹種混載での出荷は当センターでの仕分け作業に手間がかかり、市売への出品が遅れますのでご了承ください。尚、当連合会は合法材材に取り組みしております。出荷時には必ず伐採届けの提出をお願いします。

次回市・7月9日(火)

ありますが、作業条件の良い被害地では、更新伐作業も選択肢の一つとして、今後提案させていただければと思います。」と山の再生に前向きに取り組んでいます。

また、松本支所管内の大久保山(中山地区)では、今後被害が予想されるとして被害拡大の前に、2Ghaの更新伐が進んでおり、そちらはこの6月に広葉樹の植栽がされています。

枯損木被害のこの数年の進行は、山を枯らす勢いで進んでいます。みるみる赤くなっていく山を見て、通りがかりの方から、森林組合に心配の電話が来る事もありました。『更新伐』施策により、また、新たな形で山が生まれ変わる事を期待します。

前回の広報で紹介しました、予防剤「グリーンガードNeo(樹幹注入剤)」この冬から春にかけて、かなり反響があり、多くの方にご利用頂きました。今回は、散布剤の「マツグリーン液剤2」をご紹介します。

前回の樹幹注入剤はマツノザイセンチュウの侵入を防ぎ、増殖防止を目的とした予防剤でしたが、今回の散布剤はマツノザイセンチュウの運び屋であるマツノマダラカミキリを予防する事を目的とした予防剤です。

散布剤の使用適期はマツノマダラカミキリの成虫発生初期から最盛期直前まで、気象状況により毎年若干のずれはありますが、今年も6月の中旬あたりから8月の中旬頃まで

を目安に散布をしています。樹木の吸い上げる力を使って行う樹間注入剤は、まっすぐ伸びた山の松と違い、手入れが、来年に向けて、樹幹注入と合わせて予防対策を考えてみてはどうでしょう。

なお、樹幹注入剤も散布剤もあくまで予防剤なので、マツノマダラカミキリが入ってしまった松には効果がありません。組合ではどちらの手法も、樹幹注入については1月末まで、散布につきましては5月末までにご相談いただければ(散布は専門の業者を仲介するなどして)適期に対応させていただきます。

被害を拡大させないためにも、予防は大切なことと考えます。いずれの手法も施工時期がありますので、早めのご連絡をお願い致します。

害虫の発生期と予防剤使用適期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
害虫の発生期	上中下 旬旬旬	上中下 旬旬旬	上中下 旬旬旬	上中下 旬旬旬	上中下 旬旬旬	上中下 旬旬旬	上中下 旬旬旬	上中下 旬旬旬	上中下 旬旬旬	上中下 旬旬旬	上中下 旬旬旬	上中下 旬旬旬
害虫の発生期	マツノマダラカミキリ成虫発生期											
害虫の発生期	カミキリ虫の食害跡からザイセンチュウが松の中に侵入すると枯れてしまう。											
《予防剤の使用適期》	散布剤使用期											
散布剤 (マツグリーン液剤2)	↑この期間に2,3回											
樹幹注入剤 (グリーンガードNeo等)	その年の気象状況等により若干のずれがある。											
	樹幹注入剤使用期											

# 第六回通常総代会終了

平成25年4月11日、もりゆう館にて、第六回通常総代会が開催されました。

当日はお忙しい中、総代二百名のうち、本人出席九十四名、書面出席四十六名の方にご出席をいただき、議長宮澤大之様の進行により、提出された議案についてすべて承認承認されました。

## 平成24年度事業報告

平成24年度は、国の森林・林業再生プランに基づく改革が本格的にスタートし、林業経営・技術の高度化、森林資源の活用等を改革し2020年の木材自給率50%を目指そうというものです。「国産材の利用拡大と森林・林業再生運動」に沿った施業集約化の推進・森林経営計画の作成、路網・作業システムの改善により搬出間伐の拡大に努めましたが、木材利用の需要と供給のバランスが崩れ、価格が下落、施業集約化の推進・森林経営計画の作成には相当な時間を要し、計画達成の為に課題として残りました。

…損益計算書…  
自 平成24年2月1日～至 平成25年1月31日

科目	小計(千円)	合計(千円)
I 事業総損益		
事業総収益	481,453	
事業総費用	379,845	
事業総利益		101,608
II 事業損益		
事業管理費		101,148
事業利益		460
III 経常損益		
1. 事業外収益	7,799	
2. 事業外費用	1,552	
事業外損益		6,247
経常利益		6,707
IV 特別損益		
1. 特別利益	0	
2. 特別損失	22	
特別損益		-22
税引前当期純利益		6,685
納税引当金繰入	680	
当期剰余金		6,005
前期繰越剰余金		1,357
当期未処分剰余金		7,362

## 総代改選についてお知らせ!

平成22年度より3年間、ご苦労をいただいた現総代のみなさんの任期が8月31日で任期満了となります。現総代の方を通じて次期総代を推薦届書又は立候補届書により選出してください。各地区総代の方には別途通知をもって説明会を開催しますので、ご出席をお願い致します。

なお、説明会に出席できなかった総代の方には説明文書並びに提出書類を送付させていただきます。総代改選における、総代選出の流れは左記表の通りです。

区域	人数
第1区 旧松本森林組合の区域	33人
第2区 旧筑南森林組合の区域	58人
第3区 旧筑北森林組合の区域	76人
第4区 旧穂高町森林組合の区域	5人
第5区 旧あづみ森林組合の区域	28人
計	200人

※さらに区域によっては、区域内で地区割り、員数割もあります。

### 選出日程

○推薦届又は立候補届を提出願います。締切は**8月20日(火)**です。  
○選出すべき総代数を超えない時は、投票を行わず、候補者を持って当選となります。当選者への通知・広告は**8月21日(水)**(広告は、組合の出先(本所・各支所)に掲示します。)

※選出いただきました総代数が定数より多い場合は選挙となります

【選挙になった場合の日程】  
投票日 … 8月23日(金)  
投票所 … 各選挙区の組合の出先(本所・各支所)  
投票時間 … 午前9時～午後4時  
当選者への通知・広告 8月25日(日)

**9月1日新総代就任**

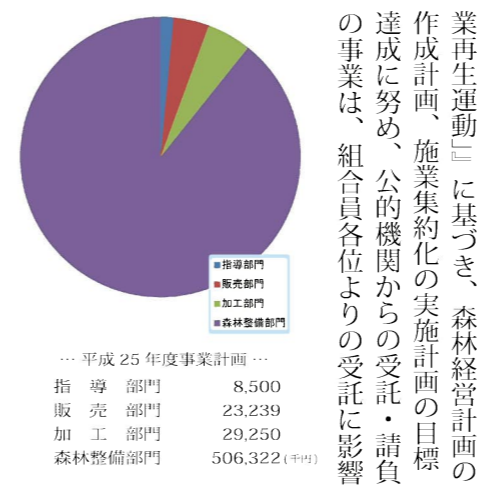


…貸借対照表… (平成25年1月31日現在)

科目	内訳	小計	合計	科目	内訳	小計	合計
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
流動資産				流動負債			
1 現金		122,981		1 買掛金		4,057,741	
2 預金		197,343,493		2 未払金		37,519,673	
3 受取手形	1,368,505			3 未払法人税		680,500	
4 売掛金	9,040,000			4 前受金		1,575	
5 未収金	161,285,645			5 受託販売預り金		1,542,724	
3～5の貸倒引当金	1,551,941	170,142,209		6 預り金		65,941,514	
6 たな卸資産		6,757,968		7 預り消費税		118,889	
7 立替金		86,962,837		8 未払消費税		3,198,300	
8 仮払金		4,552,154		流動負債合計		113,060,916	
9 差入保証金		15,000		固定負債			
流動資産合計		465,896,642		1 林業改善資金借入金		2,848,000	
固定資産				2 農林漁業資金借入金		6,373,213	
有形固定資産		73,316,579		3 退職給付引当金		89,478,437	
1 建物	38,840,996			固定負債合計		98,699,650	
2 車両運搬具	2,059,160			負債合計		211,760,566	
3 機械装置	32,260,337			<b>純資産の部</b>			
4 構築物	86,076			組合員資本			
5 器具備品	70,001			1 出資金		122,552,200	
6 森林	9			2 利益剰余金		231,319,069	
無形固定資産				法延準備金		132,681,402	
外部出資		20,153,500		任意積立金		91,275,768	
その他の固定資産		6,373,213		当期剰余金	6,005,247		
固定資産合計		99,843,293		前期繰越剰余金	1,356,652		
資産合計		565,739,935		当期未処分剰余金		108,100	
				3 資本準備金			
				純資産合計		353,979,369	
				負債・純資産合計		565,739,935	

### 平成25年度事業計画

平成25年度は、国、県の施策と系統連動「森林組合活動21世紀ビジョン」3rdステージ「国産材の利用拡大と森林・林業再生運動」に基づき、森林経営計画の作成計画、施業集約化の実施計画の目標達成に努め、公的機関からの受託・請負の事業は、組合員各位よりの受託に影響



### 今年も第1回目の安全衛生大会が6月27日(木)午前9時に始まり、安全衛生担当から「労働災害の現状と安全衛生について」説明をし、その後は、松本支所所属の松木班司会のもと「チルホール使用時の安全・確実な作業方法について」デイスカッション形式で事例発表が行われました。この企画は、松木班がチルホールを使った現場での失敗事例を題材に、安全衛生大会を利用してみんなで考えようという発案から始まったもので、ここ数年の事務局側が提案する安全衛生大会とは異なる、初の試みとなりました。

### 安全衛生大会開催しました。

デイスカッションをした後、外に出る林産班の職員の実演でクサビの打ち方を見たり、積極的に組合内の技能職員の知識や技術の交流を図りました。

午後は伊那市にある特殊伐採&レスキューの専門用具を取扱う「アウトドアショップK」より、店長の木下啓さん・小坂岳さん・ポールポインターさんの3名に来ていただいて「ツリーワークの安全管理」と題した実演を交えた講演を目で耳で体験しました。

もくりゆう館の会議室は、丁度良い具合に梁が張られており、ポールさんの実演も、うまい事この梁を使って室内で見ることが出来ました。

今回のアウトドアショップKさんは国内でも珍しい、木登り用品を持っていくショップなので、この日も、通常販売している品物をたくさんご参頂いて、普段見ることがあまりない木登り用品の数々に、終了後もくぎづけの技能職員も居ました。

松木班の取ったアンケートによると、チルホールを使うとき

日各支所より代表にきてもらいホワイトボードを使って準備をして、当日の使い方について事前にアンケートを取り、本広域森林組合内の12の班にチルホールを使うとき、木登りをしてる班も多くあり、午後の講義も午前との関連持って考える事の出来る、良い講演を聞くことが出来ました。

今回は、技能職員の積極的な姿勢が見ることが出来、安全への意識の向上が感じられる大会でありました。

を及ぼさない範囲で展開し、森林整備計画量の達成、事業体の活性化の為に地域の林業事業者と連携を図ってまいります。

【指導部門】 施業集約化推進・森林経営計画の作成につとめます。

【販売部門】 木材有利販売拡大と未利用材活用を研究します。

【森林整備部門】 施業集約化を推進し、高性能林業機械による搬出間伐作業技術の確立で森林整備業務を遂行します!

【加工部門】 付加価値を高めた木材販売に努めます。

…損益計算書…  
自 平成25年2月1日～至 平成26年1月31日

科目	小計(千円)	合計(千円)
I 事業総損益		
事業総収益	561,811	
事業総費用	434,671	
事業総利益		127,140
II 事業損益		
事業管理費		126,500
事業利益		640
III 経常損益		
1. 事業外収益	1,800	
2. 事業外費用	1,550	
事業外損益		250
経常利益		890
IV 特別損益		
1. 特別利益	20,000	
2. 特別損失	20,000	
特別損益		0
税引前当期純利益		890
納税引当金繰入	681	
当期剰余金		209
前期繰越剰余金		3,762
当期未処分剰余金		3,971



### 活躍に期待! 『重機いろいろ』復活の時!

長い眠りから目覚めた重機が居ます。重機に印刷された文字が合併前の筑北森林組合のまま出番を待っていたのは「タワヤーダ」この度、活躍の場が出来たという事で、修理の見積もり業者に見てもらった為に雨の水曜日、以前使用していた筑北森林組合OBと、今回使用することが決まっています。奈川班の面々が立ち会いました。高く伸びたタワヤーダ、まだまだ健在!と言っているようです。

### 新戦力加入!

合併前、筑北森林組合時代より23年に渡り現場で活躍していた重機PC-100が引退し、新しくPC78が納車になりました。

小さいサイズではありますが、若干現代の機器はすばらしく、アイドリングを含めた重機の稼働時間なども、パソコン上で管理できるすぐれた機能を持ち、山の中で行う作業には最適サイズの新車です。

今後は森林整備の現場で搬出や、集積、林道開設などのシーンで、作業員の右腕となることが期待されます。